

2019年10月入学
広島市立大学大学院
平和学研究科修士課程
学生募集要項

外国人留学生特別入試

本学所定様式（別途ダウンロードしてください）

- ・ 入学志願票
- ・ 履歴票
- ・ 推薦書 1, 推薦書 2



Hiroshima City University

発行：2019年4月

1 アドミッション・ポリシー

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材を育成します。さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成します。

この目標とする人材を育成するため、次のような人の入学を求めています。

- ・ 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
- ・ 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
- ・ 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

平和学研究科では、次のような人の入学を求めています。

- ・ 国際紛争やグローバル問題などの様々な事象に関して、その背景や要因を追求し、客観的かつ科学的に分析できる人
- ・ 職業経験を有する社会人においては、平和、人権、及び民主主義に強い関心を持ち、平和創造及び平和維持に関する自らの知識や経験を学問的に捉え直し深めた上で、さらに強く発信したい、今後の仕事に活かしたいという意欲と熱意を有している人
- ・ 平和を創造し維持するためにどのような制度と規範が必要かを自ら考え、研究し、考案したアイデアを国内外に向けて平和創造の視点から発信したいという意欲と熱意を有している人

2 授与する学位の種類

平和学研究科修士課程では、「修士（平和学）」の学位を授与します。

3 募集人員

平和学専攻 10名

※1 募集人員10名は、一般入試、社会人特別入試及び外国人留学生特別入試の合計数です。

2 英語で学位が取得できます。英語で学位の取得を目指す方は、英語版の学生募集要項をご覧ください。

4 出願資格

日本の国籍を有さず、日本に居住しない者で、次の各号のいずれかに該当し（2019年9月30日までに該当する見込みの者を含む）、大学院入学後に、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を取得できる見込みである者としてします。

- ① 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- ② 外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ③ 外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ④ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達している者

5 出願資格事前審査

出願資格③又は④の資格により出願しようとする者は、出願資格認定のため事前審査を行います。

該当の入学志願者は、必ず本学事務局入試グループへ申し出たうえで、下記の事前審査書類を、**提出期限までに必着するようEMS (Express Mail Service) 等にて「6 出願手続」の「(4) 出願先及び出願・受験に関する問い合わせ先」**に書かれた住所まで郵送してください。

【事前審査書類】

ア 事前審査申請書（本学所定の様式）

イ 履歴書（本学所定の様式）

ウ 研究等業績書

使用言語は日本語又は英語とし、A4判用紙、横書きで、日本語は2,000字以内、英語は1,300 words以内とします。

エ 「6 出願手続」の「(5) 出願書類等」のうち、④～⑥の書類（④については最終学歴のもの）

オ 最終学歴の後に取得した学力、資格、検定等の証明書（該当するものがあれば、その写し）

（注1）本学所定の様式は申し出により交付します。

（注2）提出書類のうち、日本語又は英語以外の外国語で作成されたものには、必ず日本語又は英語の翻訳を添付してください。

【提出期限】2019年4月19日（金）午後5時必着（日本時間）

6 出願手続

(1) 事前相談

志願者は、9ページの「平和学研究科平和学専攻（修士課程）教員及び担当授業科目一覧」又は本学ウェブサイト等を参照して、指導を希望する教員、その教員の研究分野及び担当授業科目を選択し、**出願前に、本学事務局入試グループを通じて、あるいは直接、該当の教員と事前相談を必ず行ってください。**

ただし、指導を希望する教員は、**特殊演習担当教員（研究指導を行う教員）に限ります。**

(2) 出願期間

2019年5月7日（火）から2019年5月27日（月）まで（最終日は午後5時必着、日本時間）

※ **入学検定料の振込期間は出願期間より早く設定しています。**詳細については、4ページの「(5) 出願書類等」の「③ 入学検定料」をご覧ください。

(3) 出願方法

指導を希望する教員との事前相談の後、出願書類を一括して封筒に入れ、**必ず出願期間内に到着するようEMS (Express Mail Service) 等で郵送してください。**

(4) 出願先及び出願・受験に関する問い合わせ先

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

広島市立大学事務局入試グループ

電話 +81-82-830-1503

E-mail nyushi@m.hiroshima-cu.ac.jp

出願に必要な書類等		作成方法等
⑥	研究計画書 (同じものを4部)	本研究科入学後に行いたい研究計画について、研究課題、着想に至った経緯、具体的に明らかにしたい事柄や研究方法、研究課題の学術的もしくは社会的意義について、まとめてください。 使用言語は日本語又は英語とし、A4判用紙、横書きで、日本語は4,000字程度、英語は2,700 words程度とします。 参考となる資料(卒業論文など)があれば、併せて提出してください。
⑦	日本語又は英語能力を測定した検定試験の成績証明書 (日本語又は英語で学位を取得した者は提出不要)	以下のうち、 いずれか1つ(コピー不可) を提出してください。出願締め切りからさかのぼって 過去2年以内に実施したもの に限ります。 ① 日本語能力試験(JLPT)又は日本留学試験(EJU)の成績証明書(点数が記載されたもの)。 ② TOEFL(PBT又はiBT)のスコアレポート又はIELTS(Academic Module)の成績証明書。 原本は受験票に同封して返還します。
⑧	志望理由書 (同じものを4部)	本研究科に入学を希望する理由について、具体的に書いてください。また、本研究科における研究成果を、将来どのように生かしていくかについての展望にも触れてください。 使用言語は日本語又は英語とし、A4判用紙、横書きで、日本語は1,000字程度、英語は600 words程度とします。
⑨	推薦書 (2種類)	1 所属大学の学部長又は研究科長によるもの1通。ただし、既卒の者については、所属機関の長の推薦書(本学所定の様式[推薦書1]を使用してください)。 2 志願者の研究指導者によるもの1通。志願者との関係及び志願者を推薦する理由について記したもの。(本学所定の様式[推薦書2]を使用してください)。 1, 2ともに使用言語は日本語又は英語とし、いずれも 厳封 したものを提出してください。

(注1) 次の本学所定様式は、2019年10月入学平和学研究科修士課程用を本学ウェブサイトからダウンロードしてください。

入学志願票、履歴票、推薦書1、推薦書2

(注2) ④、⑤、⑦の書類のうち、日本語又は英語以外の外国語で書かれたものには、必ず日本語又は英語の翻訳を添付してください。

(注3) 作成方法の指示どおりに作成されていない書類がある場合(記入漏れ、翻訳の未添付等)は、出願を受理しない場合があります。

(注4) 事前審査該当者で、すでに上記④～⑥の書類を提出済の者は、再度提出する必要はありません。

(6) 出願上の注意事項

- ① 必要な書類がすべてそろっていない場合は受付できませんので、出願の際には十分確認してください。
- ② 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合には、速やかに本学事務局入試グループまで連絡してください。
- ③ いったん受理した出願書類及び入学検定料は返還しません。
- ④ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実の発生や発見があった場合には、入学を取り消すことがあります。

(7) 受験番号の通知

出願締め切り後に受験番号を通知します。

(8) 検定料の返還

次に該当した場合は納入済みの検定料を返還します。ただし、返還する際に発生した各種手数料は、送金人（志願者）負担となります。

- ① 検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

〔返還請求の方法〕

上記①又は②に該当した場合は、出願先に連絡してください。「検定料返還請求書」をメールで送付しますので、必要事項を記入の上、出願先の住所あてに郵送してください。

上記③の場合は、出願書類等の返却の際に「検定料返還請求書」を同封しますので、必要事項を記入の上、出願先の住所あてに郵送してください。

7 個人情報取扱い

① 出願書類等に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別その他の個人情報等）は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。

また、同情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請、授業料免除申請等）業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的を持って本学が管理します。

② 上記業務の一部は、個人情報について適正な管理のための必要な措置を講じた上で、外部の業者に委託する場合があります。

8 入学者選抜方法

日本語又は英語能力検定試験の結果及び研究計画書、推薦書等の提出書類を審査し、総合評価して選考します。

また、インターネットを利用した面接を実施することがあります。この場合、日時は受験者と調整します。

9 合格者発表

2019年7月2日（火）午前10時（日本時間）

合格者には合格通知書を送付します。

また、本学ウェブサイト <http://www.hiroshima-cu.ac.jp/>（トップページ＞入学案内＞大学院入試情報）でも合格者の受験番号を掲載しますが、参考情報ですので、合格者に送付する合格通知書で正式に確認してください。

なお、電話、郵便、メール等による問い合わせには応じません。

10 入学手続

(1) 入学手続期間

2019年7月8日（月）から7月26日（金）まで（最終日は午後5時必着，日本時間）

(2) 入学手続方法

- ① 入学手続に必要な書類は，合格通知書と併せて直接本人に送付します。
- ② 入学手続は，提出書類を一括して封筒に入れ，**必ず入学手続期間内に到着するようEMS（Express Mail Service）等で郵送してください。**郵送にはEMS（Express Mail Service）の利用を推奨します。
- ③ 入学手続を完了した者には，入学手続期間終了後に，入学許可書を送付します。

(3) 提出書類

- ① 誓約書（本学所定の様式）
- ② 保証書（本学所定の様式）
- ③ 写真1枚（上半身，無帽，正面向き，背景なしで最近3か月以内に撮影した，縦4cm×横3cmのもの。
裏面に合格した研究科名及び氏名を記入してください。）

(4) 入学手続先

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

広島市立大学事務局入試グループ

電話 +81-82-830-1503

(5) 入学手続上の注意

- ① 期間内に手続を行わなかった者については，入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 必要な書類がすべて揃っていない場合には受付できませんので，書類の提出の際には，十分確認してください。
- ③ いったん受理した入学手続書類及び入学料は返還しません。
- ④ 卒業見込で出願した者は，卒業後，速やかに卒業証明書を提出しなければなりません。

11 納付金等

(1) 入学手続までに納付するもの

納付金	金額
入 学 料	423,000円

(2) 9月末までに納付するもの

納付金	金額
後援会費	20,000円

(注) 後援会費には，学生教育研究災害傷害保険料・学生教育研究賠償責任保険料が含まれています。

(3) 入学後に納付するもの

納付金	金額	納付時期
授業料（年額535,800円）	267,900円	4月末まで
	267,900円	10月末まで

(注1) 金額は、2019年4月現在の金額です。改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される予定です。

12 社会人を対象とした入学料・授業料の免除の制度について

(1) 対象者

平和創造及び平和維持のための活動を行う機関又は団体（国，地方自治体，国際機関及び報道機関等。外国のものを含む。）に職員又はこれに準ずる者として在職している者で，平和学研究科において学修することにより，これらの機関等における平和創造及び平和維持のための活動が一層充実したものとなることが十分期待できる者。

(2) 免除する教育費

入学料及び授業料

(3) 対象者の決定

申請書及び所属機関の推薦書を基に選考します。

平和学研究科平和学専攻（修士課程）教員及び担当授業科目一覧（職位ごとに50音順）

教員		担当授業科目	研究分野
教授	オオシバ リョウ 大芝 亮 ㊦	グローバル・ガヴァナンス論	国際関係論(グローバル・ガヴァナンス論)
教授	オキムラ タダシ 沖村 理史 ㊦	平和構築論, 国連論	国際関係論, 国際制度研究, 国際連合研究
教授	ガネサン ナラヤナン GANESAN, Narayanan ㊦	東南アジアの紛争と協力	東南アジアの比較政治学・国際関係
教授	キツカワ ゲン 吉川 元 ㊦	平和学, 安全保障論, 予防外交論	国際関係論, 国際安全保障論, 平和研究
教授	サトウ テツオ 佐藤 哲夫 ㊦	現代国際法と平和, 国際組織と国際制度	国際法, 国際組織法
教授	ジェイコブズ ロバート JACOBS, Robert ㊦	核文化論, グローバル・ヒバクシャ	核兵器の歴史・文化
教授	ナオノ アキコ 直野 章子 ㊦	現代社会と平和, 被爆の記憶	社会学
教授	ナガイ ヒトシ 永井 均 ㊦	核と歴史Ⅱ, 戦争裁判と国際刑事裁判, 日本の近現代史	日本近現代史, 日本・フィリピン関係史
教授	ミズモト カズミ 水本 和実 ㊦	核と歴史Ⅰ, 核と歴史Ⅱ	国際関係・核軍縮及び原爆被爆問題
准教授	カワカミ アキヒロ 河上 暁弘	日本国憲法と平和主義	憲法学, 地方自治論, 人権論
准教授	ジョー ケンブン 徐 顕芬	現代中国の政治と外交	日中関係史, 東アジア国際関係論, 国際協力論
准教授	ソン ヒョンジン 孫 賢鎮	韓国・北朝鮮外交と核問題	国際法, 朝鮮半島の国際関係, 北朝鮮の諸問題
准教授	タケモト マキコ 竹本 真希子	平和思想と平和運動	ドイツ近現代史, 平和思想・平和運動史
准教授	ハ ケンジン 河 兪珍	グローバル・コミュニケーション論, ジャーナリズム論	コミュニケーション論, メディア研究, パブリック・リレーションズ
准教授	フクイ ヤスヒト 福井 康人	軍縮国際法, 戦争裁判と国際刑事裁判	国際法, 国際関係論

備考1 授業科目は2019年4月現在のものです。

2 指導を希望する教員は、特殊演習担当教員（㊦印の教員）に限ります。